「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」議員別ご回答結果

一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）は、2016 年 6 月 1 日より全ての国会議員の皆様を対象に、「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」を実施しました。

本用紙は、ご回答をいただいた国会議員の皆さまについて、議員別にその内容を記したものです。がん対策の推進に関心をもっていただき、ご回答をいただいた議員の皆さまに感謝申し上げます。国会議員のご回答一覧は、全がん連ホームページで公開しています。（ホームページアドレス：http://zenganren.jp/）

―――――――――――― 国会議員アンケートご回答結果ここから ――――――――――――

国会議員名

志位　和夫　（衆議院議員／共産／比例南関東）

問１　超党派議連「国会がん患者と家族の会」より提案される予定の「がん対策基本法改正案」について、次の臨時国会での早期成立が必要と考えますか？

☑ はい　　☐ いいえ　　☐ その他

【その他の場合のコメント】

問２　第 24 回参議院議員通常選挙（6 月 22 日公示、7 月 10 日投開票）に関して、政党のマニフェスト（選挙公約）などで「がん対策の推進」に関する内容が重視されるべきと考えますか？

☑ はい　　☐ いいえ　　☐ その他　（　　）

【その他の場合のコメント】

問３　がん対策の推進に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

【自由記述欄】 日本国民の死因第 1 位である、がんの予防・治療には、国の責任で、総合的な対策をすすめることが必要です。所得や地域にかかわらず、どこにいても必要な治療・検査を受けられる医療体制の確立、専門医の配置や専門医療機関の設置、緩和ケアやリハビリテーションの充実、患者さんの就労等、だれもが安全、安心の治療を受けられるよう、総合的ながん対策を推進します。